

総務常任委員会 行政視察報告

期 日 平成28年10月31日から11月2日
 研修地および 石川県金沢市
 調査事項 空き家等管理・活用計画について
 長野県長野市
 定住人口の増加政策について

古河市には700軒もの空き家が報告されている。管理状態が悪い場合は倒壊の恐れもあり、対策は喫緊の課題である。

金沢市では早い時期に空き家管理・活用計画を策定し、運用実績もあることから調査を行うこととした。

視察では空き家活用バンクが本来の趣旨で利用されていないこともわかり、古河市において利活用を検討する場合は、十分注意して制度化するように進言させていただいた。

また、長野市では人口減少対策について研修させていただいた。課の名称を人口減少対策課から人口増推進課に変えるほどの気合の入れよ

うである。古河市も斬新的な施策を考案し、課題解決、その改善に向けて全力で取り組んでいきたいと考えている。



行政視察（長野県長野市役所）

文教厚生常任委員会 行政視察報告

期 日 平成28年10月12日から10月14日
 研修地および 山形県南陽市
 調査事項 「南陽市文化会館」木を生かした文化拠点づくりについて
 山形県新庄市
 「新庄市立萩野学園」小・中一貫校について

今回の委員会行政視察研修では、山形県南陽市と新庄市を訪問した。

南陽市の文化会館は、地元産資材を生かした木づくりで、大ホールや小ホール等からなる大規模施設でありながら、温かみもある素晴らしい施設であった。文化発信拠点としての機能はもちろん、年間23万人の利用者があり、交流人口増による地域振興策としても大きく貢献しており、大いに参考となる点があった。

新庄市立萩野学園では、開校までの経緯、保護者や生徒への配慮等具体的な取り組みを学ぶことができ、実際の生徒の学校生活や成長に合わせ考えられた制度や施設が数多く見られた。

改めて、理想の古河市の実現に向けてまい進していきたいと感じられた研修であった。



行政視察（山形県新庄市立萩野学園）